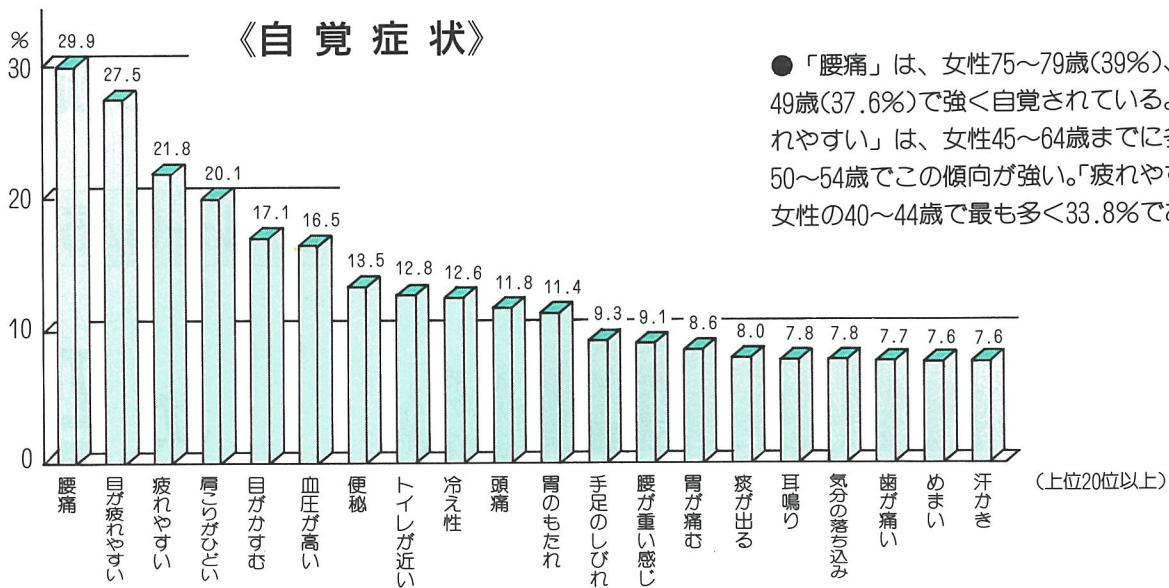


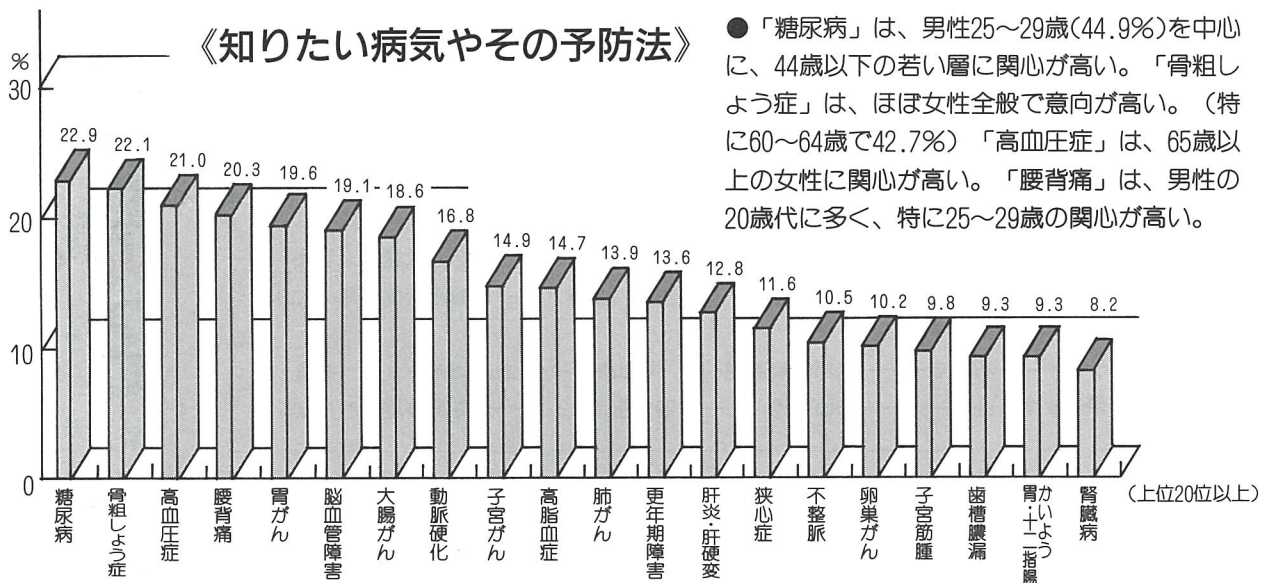
保健ニーズ調査結果

《自覚症状》



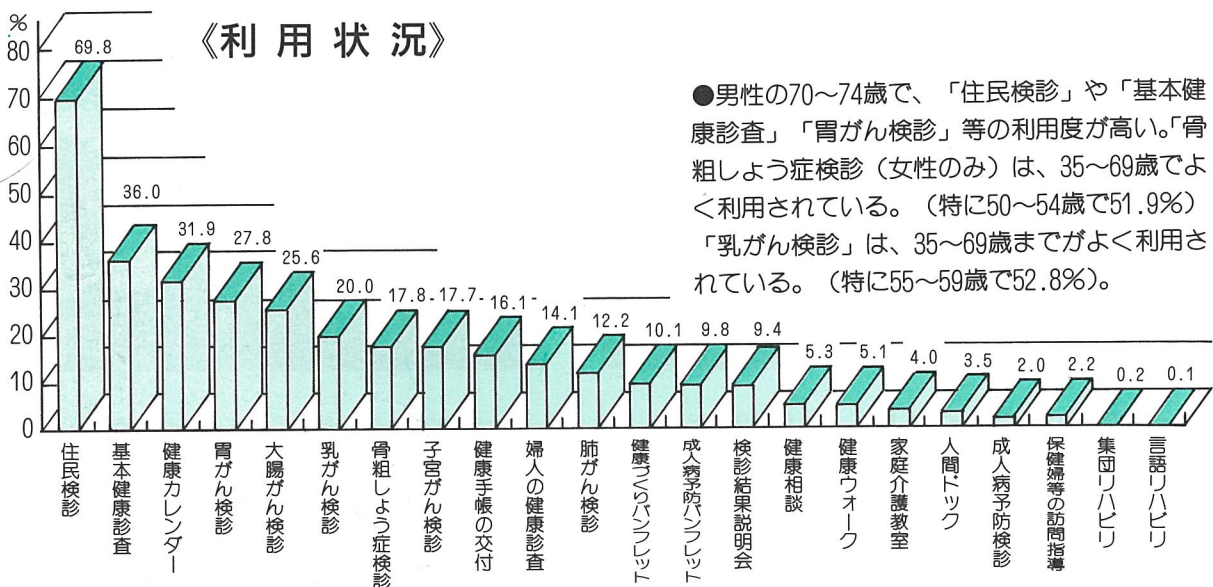
●「腰痛」は、女性75～79歳(39%)、男性45～49歳(37.6%)で強く自覚されている。「目が疲れやすい」は、女性45～64歳までに多く、特に50～54歳でこの傾向が強い。「疲れやすい」は、女性の40～44歳で最も多く33.8%である。

《知りたい病気やその予防法》



●「糖尿病」は、男性25～29歳(44.9%)を中心に、44歳以下の若い層に関心が高い。「骨粗しょう症」は、ほぼ女性全般で意向が高い。(特に60～64歳で42.7%)「高血圧症」は、65歳以上の女性に関心が高い。「腰背痛」は、男性の20歳代に多く、特に25～29歳の関心が高い。

《利用状況》



●男性の70～74歳で、「住民検診」や「基本健康診査」「胃がん検診」等の利用度が高い。「骨粗しょう症検診(女性のみ)」は、35～69歳でよく利用されている。(特に50～54歳で51.9%)「乳がん検診」は、35～69歳までがよく利用されている。(特に55～59歳で52.8%)